

まちづくりプロジェクト01

特別栽培野菜



メンターシップ



- 当プロジェクトの目標は「まちづくり」ですが、この活動で目指すべき方向は「**後継者への知恵と技術の伝承による可能性への期待**」であり、ここでは「まちづくり」は後継者づくりの延長線上にあるものと捉え、彼らの今後の活動を支援するための基盤づくりが私たちの重要課題になります。
- その活動の第一段階が「**特別栽培野菜**」の生産販売への取り組みです。

メンターシップの魅力 【後継者育成・技術指導・知恵の伝授・アドバイス・サポート】

メンターシップとは、年令の上下に関係なく経験豊富な先輩（メンター）が後輩（メンティー）の成長を支援する関係性や制度のこと。専門知識やスキルだけでなく、キャリア形成全般（人生の歩み方）について、対話を通じて助言・指導・相談に応じ、自発的な発達を促す「二人三脚」のようなサポート体制です。これにより、メンティーは課題解決やスキル向上を図り、メンター側も教えることで自身の成長を実感できる、相互にメリットのある人材育成手法・スタンスを指します。

自己成長の促進

メンターシップにより、経験豊富な指導者から素直な気持ちで知識やスキルを学ぶことで、自己成長が大きく加速します。

目標達成のサポート

個人的な目標を明確にし、アドバイスやフィードバックを受けることで、目標達成の可能性がより確実になります。

ネットワークの拡大

メンターシップは、それぞれの知人友人と接点を持てることで双方とも新しい人脈やネットワークを広げる絶好の機会を提供します。

生きがい創出

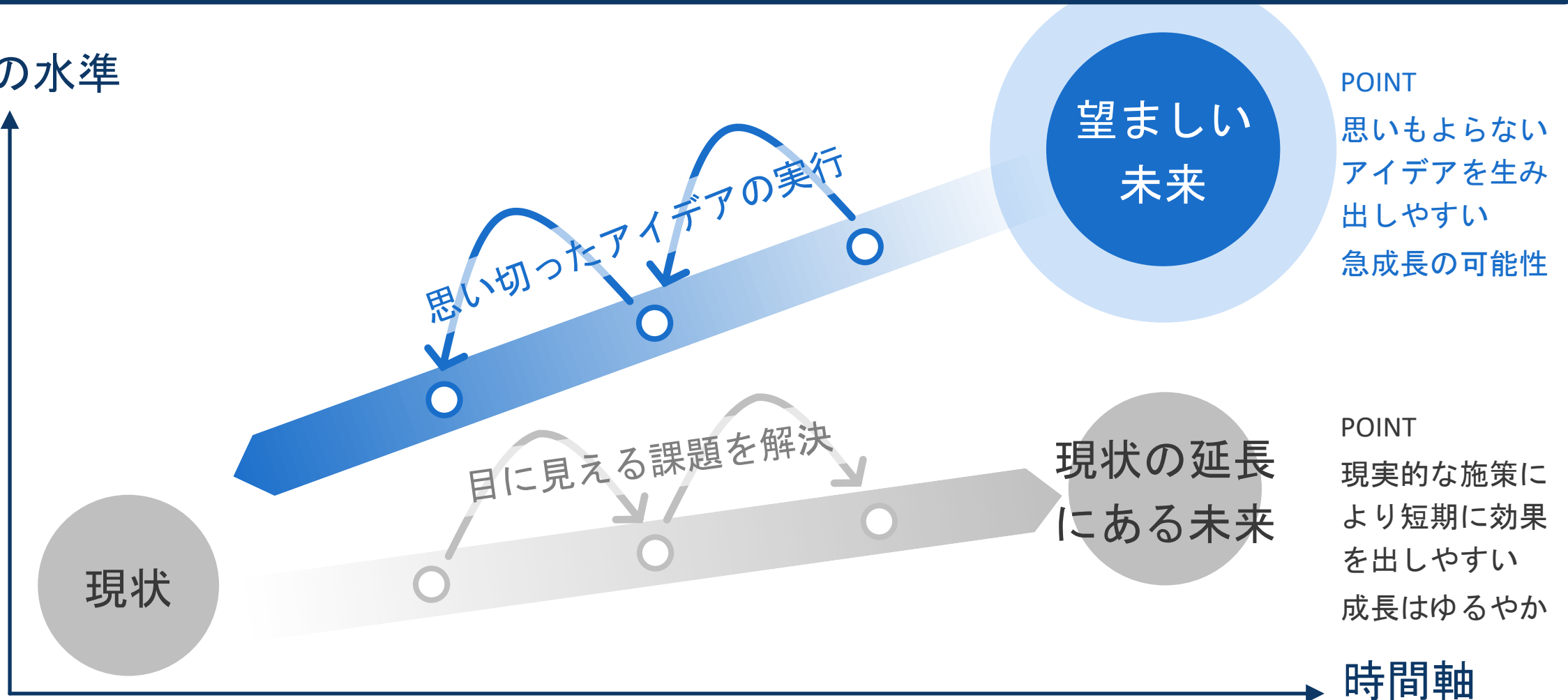
メンターのうち特に高齢者の場合は周囲から必要とされることで社会貢献性を再認識でき自らの生きがい創出につながります。



フォーカスティング vs バックキャスト

- ・ フォーカスティング：現状見える課題に対する解決手段を考える思考法
- ・ バックキャスト：望ましい未来からやるべきことを考える思考法

目的の水準



計画策定におけるフォーカスティング vs バックキャスト

フォーカスティング：

現在や過去の実績を基に未来を現実的に予測する考え方です。ビジネスでは、業績目標の達成見込みを分析する「業績目標管理」として使われ、現状の進捗状況から目標達成の可否や不足分（ギャップ）を予測します。

主な意味と用途

一般的な「予測」：「今週は雨が続くはずだ」といった日常的な予測もフォーカスティングの一種です。

ビジネスにおける「業績目標管理」：

過去の営業実績や現在の状況を分析し、売上などの目標達成見込みを予測します。

目標値と予測値の差（ギャップ）を最小化するために、具体的な対策を講じます。

製造業での活用：需要予測に基づいて生産計画や資材調達、在庫管理を最適化します。

バックキャスト：

理想とする未来像を最初に設定し、そこから逆算して現在取るべき行動や計画を立てる思考法です。現状を起点に未来を予測する「フォーカスティング」とは対照的に、不確実性が高く、現状の延長線上にはない革新的な目標や課題解決に有効です。ビジネスでは、中長期的なビジョンの策定や、新しいアイデアの創出、SDGsなどの長期的な計画策定に活用されます。

バックキャストの特徴

未来からの逆算：理想の未来をまず描き、そこから「そのために今何をすべきか」を考えます。

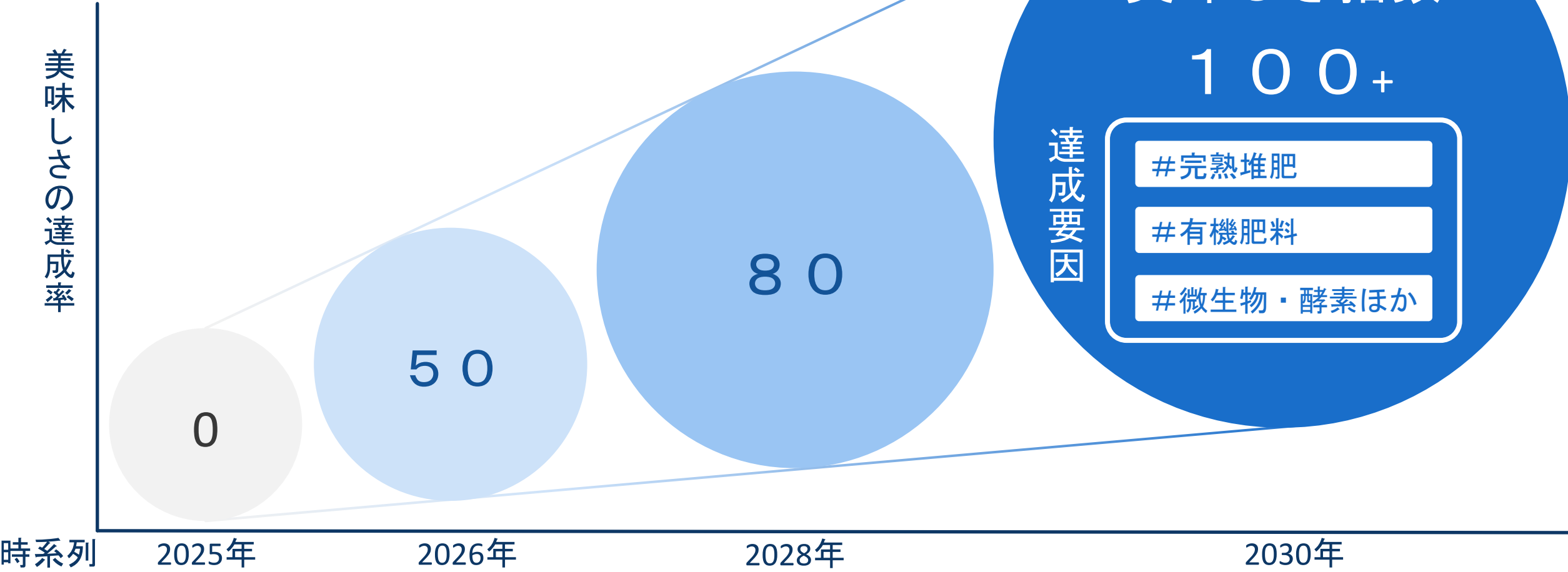
革新的な発想：現状の制約にとらわれないため、革新的な商品やサービス、ビジネスモデルの創出につながりやすいです。

不確実性への対応：予測が難しい未来や、劇的な変化が求められる状況に適しています。



野菜栽培における最重点目標である美味しさ達成率推移

一般的な家庭菜園的栽培における美味しさの基準を0として、そこから年次段階的な手法向上により、5年後に完遂との目標設定をする。



野菜の安全と美味しさを高める方策と相乗効果



生産者と消費者の価値観を共有

安全で美味しい野菜の栽培と販売、調理メニュー開発と生ごみの酵素&堆肥化への取り組みを一元化することの意味「健康維持・食費低減と収入による相乗的経済効果(使用と販売)・食の楽しみ・循環型社会への認識」のそれぞれを把握し、それら一連の作業における関連的有用性を理解した上で、それらの価値観を共有することにより相互の信頼感を高めます。



栽培技術の公開と普及拡大

安全性と味覚（旨さ）を高めるための基本的な知識と実践を公開することで、その意義が周知されることを意図し、そこから、完熟堆肥・有機肥料・人体に安全な農薬・微生物と酵素の重要性と生産資材の活用方法及び一連の管理技術の実践的指導により、安全で美味しい野菜栽培への興味を喚起し、関わる人々それぞれの意識高揚につなげます。

也帯や集落を歩いて地域の宝を発見！ くしまフット



バックカスティングによる目標設定

食は全ての人々の身体を造り成長させる命の根源であり、その奥深さは無限であることから、その果てしない可能性を探求するとの意識を常に持つことで、最終到達点を目標とした数々のアイデアを生み出すことにつながる。そこから具体策の段階設定と実践により新たな差別化的食の魅力を引き出すことが期待できます。(例＝木炭ピザ窯・野菜サラダ等体験直売所)

野菜品目別のポジショニング

上段記載の野菜は市場成長率は高いものの、味や安全性についての要求度合は一部を除き高くない状況です。これら商品は、調理用途としてサラダの主要野菜となり素材の味が重要視されることから、それを踏まえターゲットを明確化した上で、販促活動を強化し、特別栽培野菜としての認知度と導入率の向上を図ります。さらに、野菜の差別化や改善を通じて競合優位性を確立し、顧客満足度を高めることで継続利用と口コミを促進。結果としてシェア拡大を実現し、販売主要商品としての拡充を目指します。

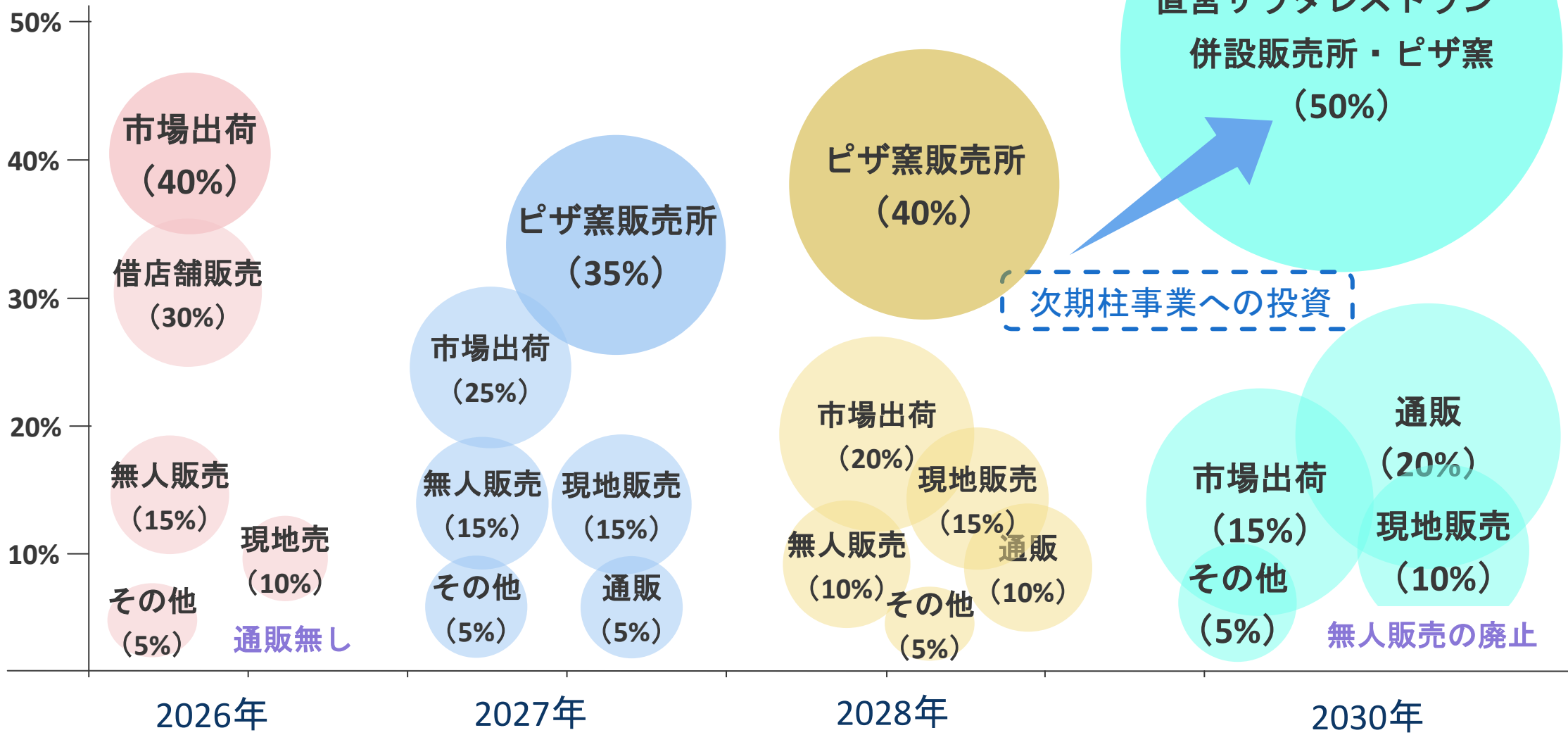
消費者の美味しさ要求度合 注力野菜群 サラダ用途（カボチャ除く）



販売におけるポジショニング

特別栽培野菜の販売手段の年次別割合と販売額の推移

特別栽培野菜販売シェア



有力な競合商品がないカテゴリーへ参入し
品質・話題性・付加価値でシェア拡大

販売規模の年次推移



ICTネットワーク（デジタル）の構築と集発信

現代社会の主流となるのがinformation・communication・technologyを組み合わせたICT（情報通信技術）によるネットワークシステムです。インターネットによるSNSやWEBページなど瞬時に双方向の情報通信ができ、決済システムによる通販も積極的に展開されています。テレワーク、テレビ会議やファイルの共有及び制作など利便性が高い反面、個人情報保護法により、一般の個人や団体が不特定多数からプライバシー情報を得るには高いスキルを要します。そのためイベントの参加者に恩恵を付加しメールアドレス登録へと誘導することや、口コミや知人紹介からの登録などによりユーザー拡大を図る必要があります。

この情報通信アイテムのスキルを高め拠点を確立することが重要です。

アナログネットワーク（クチコミ等）による周知活動

情報の信頼性が最も高いのが知人間による口コミです。それとテレビや新聞などのマスメディアがあります。これらの情報はイベントの場合は一過性で終わることがほとんどですが、食べもの関することではわざわざ連れ添って出かけるなどで広がる例が多く見られます。要は機会を逃さずできるだけ多方面に周知することが望まれ、それを口コミを含めたSNSで行うことでより多くの人々に伝えることができます。

栽培計画と実績記録

[illegible][illegible]

栽培圃場区画割り（水田）

3年を目安に換地



道路

個人栽培と共同栽培及び営利栽培エリア

個人栽培エリア

堆肥や種苗は当方で提供し耕起も行いますが、植付や種まき、除草、灌水などの管理は個人で行います。収穫分の5割を自由に利用でき、その中から販売することもできます。残りの5割は当方が現地販売し経費分を差し引き還元します。

共同栽培エリア

キュウリやトマトなど主要作目を管理の便宜上、一定のエリアに同一品目を栽培します。堆肥や種苗は当方で提供し耕起も行います。植付や種まき、除草、灌水などの管理などは全て共同で行い、作業時間に応じ野菜引換券を配布します。

営利栽培エリア

主要作目を営利用として広い面積で栽培します。このエリアの管理は全て当方で行いますが、手伝ってもらうことで作業内容に応じ報酬か野菜引換券を提供します。

家庭菜園の支援

家庭菜園として栽培している圃場に特別栽培野菜を作りたい方々に対し、堆肥の提供や技術指導を行います。作業内容によっては料金が必要なものもありますが、収穫物は全量使用できるほか、当方の販売所で販売することもできます。



特別栽培野菜の部

おわり

まちづくりプロジェクト02

仲町商店街の復興



- 仲町商店街は昭和40年半ばまでは国道220号線の沿線として存在していました。その後南側に開通したバイパスが国道に昇格。それでも平成当初までは活気が見られました。しかし平成の半ば以降廃業する店が相次ぎ、現在の店舗は当初の三分の一ほどになり空き店舗の廃墟化が懸念されます。
- 私たちは特別栽培野菜生産における販売所を仲町の一画に設け、更に道路沿いをフラワープランターで飾り、空き店舗対策としてまず手始めに一カ所を木工体験場所とするなど、フットパスの拠点づくりを提言します。

Google提供のAI機能【テキスト及び画像からAI画像・AI動画を作成・音声作成】

月額\$140（2,200円）で200クレジット（画像1枚6クレジット 動画5秒10クレジット）

DeeVid AI

180 | Lite-Monthly

AIで作成

探索

マイアセット

作成ツール

画像から動画

テキストから動画

オーディオ

AI画像

Nano Banana

AIアバター

AI動画編集

AIミュージック

テキスト読み上げ

もっと

ワークフロー

AI広告

動画クローンAI

Beta

招待してクレジットを獲得

AI画像生成/編集

画像から画像

テキストから画像

テンプレート

人気

画像 (最大5枚の画像)

+

クリック/ドロップ

プロンプト

古い商店街を木造のレトロな建物にして、道路の両側に花のプランターを配置し、通行人を含めて表現する

48/500

Nano Banana Pro

1:1

2K

1出力

作成

6

期間限定

すべて

動画

画像

音楽

スピーチ

AI画像 | 12-13 00:42

古い商店街を木造のレトロな建物にして、道路の両側に花のプランターを配置し、通行人を含めて表現する

再プロンプト

再生成

AI画像 | 12-13 00:25

古い商店街を木造のレトロな建物にして空き地にもお店を配置し、道路の両側に花のプランターを配置し、通行人を含めて表現する

AI画像作成 【元の画像にテキスト（文章）を加えて編集（変更）する】

テキスト(文章) による変更指示

夏の夕刻、古い商店街を木造のレトロな建物にして空き地にも店を配置し、道路の両側に花のプランターを配置して、通行人を含めて表現する



詳細

AI 画像

作成者

hurusato888@gmail.com

参照画像



プロンプト

古い商店街を木造のレトロな建物にして、道路の両側に花のプランターを配置し、通行人を含めて表現する

アスペクト比

1:1

作成時間

2025-12-13 00:42

元の画像



東北 仲町商店街の15年前の風景



東北 仲町商店街をAI編集（15年前の風景に人通りを多くする指示）



東北 仲町商店街の現況（左側のさび付いたトタン壁で全体がイメージダウン）



東北 雨の仲町商店街AI編集（レトロな木造と花の指示で大正ロマンをイメージ）



東北 晴天の仲町商店街AI編集（夏の夕刻レトロな木造のお店に花と通行人配置）



南西 仲町商店街の現況雨後の曇天（敷石との不調和が寂れ感を助長）



南西 仲町商店街の晴天時の現況（Googleイーアース画像）



南西 晴天の仲町商店街をAIで編集（レトロな木造のお店に花と通行人を配置）



南西 仲町商店街AI編集（近代的ガラス張りのお店とフラワープランター・人通り）



まちづくりにおけるメンターシップ まちづくりにメンターシップを適用することは、地域リーダーの人材育成、コミュニティ内の結束強化、および持続可能なプロジェクトの推進に非常に有効なアプローチです。
適用方法と具体的なアプローチ：メンターシップをまちづくりに組み込む方法は多岐にわたります。

1. 地域リーダー・後継者の育成

経験豊富な地域のベテラン住民や成功した事業者がメンターとなり、次世代のリーダーや若い社会起業家を指導します。

専門知識の継承：観光まちづくりや都市計画、地域活動運営などに関する専門的な知識や、地域特有の課題解決ノウハウを伝授します。

プロジェクトの実行支援：若手リーダーが具体的なまちづくりプロジェクト（例：イベント企画、空き家対策、新しいコミュニティスペース運営など）を立ち上げる際、計画立案から実行までをサポートします。



2. 住民参画とコミュニティ形成の促進

地域住民を巻き込んだメンタープログラムを実施することで、住民間のコミュニケーションを活性化し、地域への帰属意識を高めます。

多様な背景を持つ人々の連携：移住者、学生、子育て世代など、多様な背景を持つ人々がメンター・メンティーとして交流することで、異なる視点や専門知識が共有され、新たな解決策やイノベーション※1が生まれる可能性があります。 ※1 技術革新のみでなく新しいアイデアや技術を導入して、製品、サービス、ビジネスモデル、組織、仕組みなどに革新を起こし、社会に新しい価値や大きな変革をもたらすこと

安心できる相談体制の構築：経験の浅い住民が地域活動に関する不安や悩みを気軽に相談できる相手（メンター）がいることで、活動への参加ハードルが下がり、継続的な参画を促します。

3. スキル開発と目標設定

メンターとの対話を通じて、メンティー（指導を受ける側）は自身の目標を明確にし、その達成に必要なスキルを計画的に身につけることができます。

具体的な活動計画の策定: 地域課題を明確にし（例：高齢者の孤立問題）、それに対する具体的なアクションプラン（例：見守りカフェの運営）をメンターと一緒に作成します。

自信の醸成: メンターのサポートにより、メンティーは問題解決能力や意思決定能力を高め、地域活動への自信と主体性を育みます。

成功のためのポイント

明確な目的と期間の設定: プログラムの目的（例：若手起業家の支援、特定のプロジェクト推進）を明確にし、期間を定めることが重要です。

適切なマッチング: メンターとメンティーの興味・関心、専門分野、人間的な相性を考慮して組み合わせます。これにより、信頼関係を築きやすくなります。

サポート体制の構築: 事務局やコーディネーターが定期的なフォローアップや研修を提供し、メンター・メンティー双方の不安や懸念を解消する仕組みが必要です。

メンターシップは、地域の人材という「人財」に投資し、持続可能な地域社会を築くための基盤となります。



会議の手法（アナログ&デジタル）

目的や参加者の状況に応じて、ブレインストーミング、ディスカッション、KJ法など、目的に応じた手法を使い分けることが効果的です。これらの手法を円滑に進めるためには、発言のルール設定、タイムマネジメント※1、ファシリテーション※2の工夫などが重要です。

※1 限りある時間を戦略的に管理・活用し、個人の目標達成や生産性向上を目指す技術（時間当たり効果を最大化する）

※2 会議や議論などの集団活動が円滑に進み、成果を出せるよう支援・促進する技術や働き（進行者＝ファシリテータ）

主な会議の手法



ブレインストーミング:

目的:自由な発想で、多様なアイデアを生み出す。

ポイント:他の人の意見を否定しない、評価しないというルールを徹底する。

注意点:短時間（15～30分程度）で行うと集中力が高まる。

ディスカッション:

目的:互いの意見を論じ合い、賛否を明らかにする。

ポイント:相手の意見を批判したり、否定したりすることがある。

バズ・セッション:

目的:少人数（6人程度）のグループで、アイデアや解決策を出し合う。

ポイント:ブレインストーミングのように相手の意見を否定しない点が共通している。

KJ法:

目的:ブレインストーミングなどで出た大量のアイデアを整理・分析する。

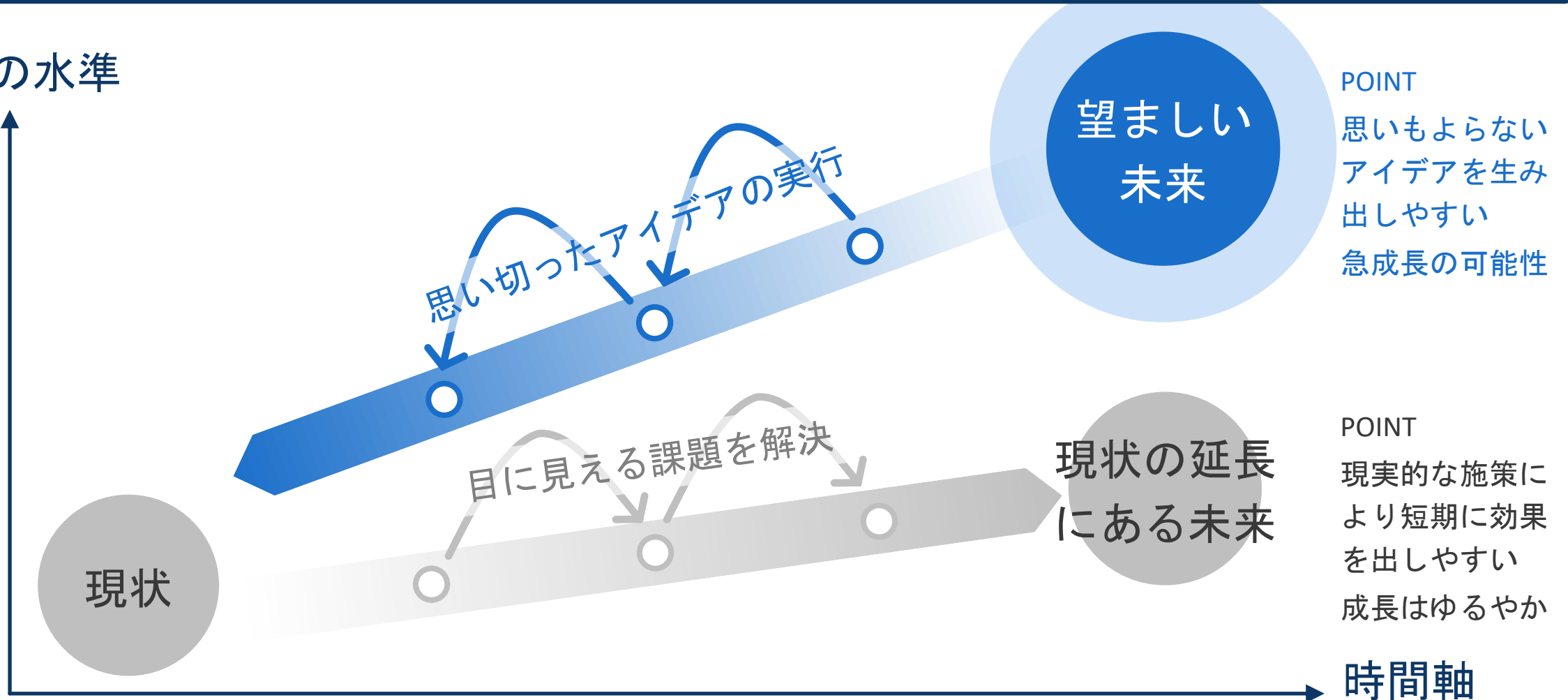
ポイント:アイデアをカードに書き出し、グルーピングして図式化していく



フォーカスティング vs バックキャスト

- ・ フォーカスティング：現状見える課題に対する解決手段を考える思考法
- ・ バックキャスト：望ましい未来からやるべきことを考える思考法

目的の水準



マイクロソフトTEAM（チーム）アプリ活用によるリアルタイムテキスト会話（双方向通信）



インスタント メッセージング

Microsoft Teams を使用すれば、仕事の場所に関係なく、チームと即座に連絡を取り合うことができます。

無料でサインアップ

サインイン



モバイルアプリ

リアルタイムでのコミュニケーションとコラボレーション

Microsoft Teams のチャットを利用すると、時と場所を問わず瞬時に繋がって交流を保つことができます。

瞬時につながる

仕事仲間の 1 人に直接メッセージを送ることも、チームにグループ チャットを送信することも、通話を開始することも、画面を共有することもできます。

[Teams アプリでチャットを設定する >](#)

どこにいても会話ができる

外出先で音声メッセージを録音することや、インスタントチャットにモバイル デバイスから返信することができます。¹

[モバイル アプリを使用する >](#)

チームの集中力を保つ

チーム内の会話、ファイル、アプリを 1 つの場所にまとめられるので、全員の足並みを揃えられます。

[テンプレートを作成する >](#)

メールの山を解消する

メールのスレッドからクイック チャットに移行しましょう。写真やドキュメントを特定の人と、またはチーム全員と共有して、リアルタイムでコラボレーションできます。

[Teams アプリでチャットを開始する >](#)



チャット



ミーティング



コミュニティ



カレンダー



アクティビティ

① 常に最新情報を確認するために、デスクトップ通知をオンにしてください。

コミュニティ



まちづくりくしま



Q&A



お知らせ



特別栽培野菜



チャンネルを追加



まちづくりくしま

投稿

ファイル

写真



Microsoft Edge

マイクロソフトTEAM 活用による共同作業及び会議記録

マイクロソフト社が提供しているチャット形式のサービス。

100字未満のテキスト及びボイスをテキストに変換して送信することで、簡易ミーティングとして参加者全員で共有できる。

メンバーを「まちづくりくしま」に招待

このコミュニティに追加する個人の名前、メール アドレス、または電話番号を入力します。一度に最大30人を追加できます。①

名前、メール、または電話番号を入力

30人の招待者のうち0人



チャンネルで投稿

投稿

アナウンス



イベント



コミュニティの設定

これらのクイック アクションで開始する



メンバーを招待



ウェルカム メッセージを作成する



新規イベントの作成

オンライン会議

オンライン会議ソフトウェアの会議とコミュニケーションの機能を活用して、どこからでも作業することができます。

無料でサインアップ

サインイン

柔軟なハイブリッド作業をオンライン会議で実現します

Microsoft Teams などの仮想会議ソフトウェアを使うと、いつでも、どこからでも、より多くのことを一緒に達成できます。



ビデオ会議

お互いの顔が見えるオンライン会議なら、実際に会っている感覚でチームワークが進みます。

[詳細情報 >](#)



バーチャル イベント

高いセキュリティ環境で、会議やウェビナーなら最大で 1,000 人、ライブ中継なら 10,000 人まで配信できます。¹

[詳細情報 >](#)



電話会議

モバイル デバイスまたはダイヤルイン番号、または Teams などのオンライン会議アプリを使って会議に参加できます。^{**}

[詳細情報 >](#)



仮想会議デバイス

スピーカーフォンや会議室システムなど、ビデオ会議専用に設計されたデバイスの豊富な機能を利用できます。

[詳細情報 >](#)

ファミリーマート

ウイング

ニシムタ

タヴェルナルポルト

串間変電所

串間市役所

旧吉松家住宅

上小路治療院

道の駅くしま

Ks. garage

公園

福島小学校

JR串間駅

串間市立福島小学校

千種保育園

ローソン 串間駅前店

空き店舗のリフォーム&リノベーション&木造空き家（古民家）の移設

空き店舗リフォームによる木工等体験所

現在空いている店舗の一つを簡易リフォームして、木工や竹細工、その他の工芸品を作成する体験場所とする。スタッフ候補は既に存在することから、早ければシュミレーションを経て令和8年からのスタートを目指す。体験メニューとしてはCamp権代と連携して、特に小学校までの子どもさんのいる家族をターゲットとする。この活動を数年後に各分野の匠が参入するための礎とします。

特別栽培野菜販売所&サラダ館開設

野菜の栽培では必ず販売へとつなげることが必要なことから、無人販売所の設置や市場出荷、委託販売などの他、仲町商店街の空き店舗をリノベーションして販売所を開設する。それとともにサラダを主として提供するサラダ館を併設する。それにより道の駅くしまから多くの回誘客を呼び込むことが期待できます。

木炭石窯設置によるピザ体験所

野菜の販売所と併設して、木炭を燃焼材とする石窯を2基(車載も検討)設置し、当初は土曜・日曜・祝日の11時から14時まで営業し利用者が多くなれば平日の月・水にも営業を拡大する。基本的には7割を予約制として生地やトッピング食材を用意し、利用者が独自に食材を持ち込むこともできるようにする。運営（対応）は希望者を募ってワークシェアのスタイルで委託します。

空き家解体業者との提携によるリサイクル活用

市内の空き家や廃屋を解体する業者と提携し、古民家でしっかりしている物件の情報を提供してもらい仲町商店街の空き地に移設する。それと解体物件で再利用できる柱や桁などの木材及びサッシや引き戸などの提供を受け、それを空き店舗のリフォームやリノベーションに活用します。



道の駅 ⇒ 公園トイレ & 杉丸太フラワーベンチ & おもてなし拠点 ⇒ まちなかフットパス

旧吉松家住宅下公園のトイレ設置

串間市内の公園には全てといえるほど公衆トイレが設置されていますが、不思議なことに中心地の公園であるこの場所にはトイレがありません。その理由として考えられるのは近くにできた道の駅くしまや旧吉松家住宅のトイレを利用すればとの意見から省かれたと思われるが、利用側からすると幼い子供を連れて道の駅や旧吉松家住宅のトイレに行こうとしても間に合わないとの潜在意識により、ほとんどの母親は公園の利用を見合わせるでしょう。またトイレへ行ったとしてもその時点で公園の利用を終えてしまうことが多いと思われ、それで賑わい効果(滞留効果)も薄れてしまいます。特に公園利用の多い幼児連れ家族が安心して遊び滞留できるためにはトイレが近くにあることが絶対条件です。

人々は流れや集団の輪に引き寄せられる習性があることから、公園を多くの人々が利用し且つ滞在時間が長くなるよう工夫することでそれが集客増の引き金になり回遊動線における各拠点の利用度指標として表現できます。それぞれの拠点(公園など)で子供らが楽しく遊んでいる姿を周り(通行人)の元気と滞留効果につなげる意味でもトイレの設置は不可欠です。

杉丸太て（二つ割）によるフラワーボックスベンチ

約35年前に日南市の飢肥の通りに飢肥杉の丸太を半分に切ってくり抜いて草花を植えたベンチを設置した過去があり、私が監修して季節の草花を植栽していました。その再現を仲町商店街で行うことにあたり、草花だけでなくハーブやミニトマトを加えて、それが自由に摘めるかたちにします。その話題が周知されることで訪れる人々の増加が期待できます。

おもてなし（お茶出し）拠点の配置

フットパスを視野に入れた巡回コースの数カ所に、住民（高齢女性）主導によるおもてなし拠点を設置し、お茶や菓子・漬物・簡単な手料理などを提供する。立ち寄った人々はお礼として少額を基金する。

まちなかフットパスの展開（なかんまちなかフットパス）

ちょうど10年前に市木石波で行った串間初のフットパスは、その後古竹や本城（サードプレイス主催）などで開催。イギリス発祥のフットパスは田園や高原、山林など自然のままのエリアを歩くことに価値観を見出す活動ですが、近年では市街地の中を歩くまちなかフットパスも見られるようになりました。そのことを踏まえ、私たちは仲町商店街で魅力あるフットパスを展開する上で空き店舗の利用や草花植栽、販売所設置などをコースに取り入れ復興への相乗効果を期します。



仲町商店街の復興の部 おわり
